

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	現状の身体的拘束等の適正化のための指針については、従事者に対する教育について求められている内容について記載内容が不明瞭ある。	身体拘束の取組に関する指針について現状に合わせるべく改正手続きをし、従事者に対する教育・研修時期等を記載する。	従事者への身体拘束等の適正化の為の教育・研修については、昨年法改正後すぐ1回実施し、身体拘束について守るべき事の教育を実施したが、今回の外部評価について求められている内容について勘案し1月：身体拘束と虐待、2月：ヒヤリハット事例研究、3月：回避の為のチームケア、を題材に内部研修を行い従事者への対応の一助とする。またこれとは別に法令で指定されている年2回の研修も自己啓発につながる様研修を実施する。	12ヶ月
2	6	ご家族へのアンケートや運営推進会議等出た意見や要望にその都度対応しているが、これまでの意見や要望を集約し、内容を分析する所までは実施しておらずサービスの質の向上に生かせていない。	入居者・御家族、運営推進会議等で出た意見や要望については、内容を保存、分析しサービスの質の向上に生かせる様にする。	今後は、日々の入居者、運営推進会議等や御家族からの意見・要望等について内容を保存し、分析反映出来る様ノートを作成し、サービスの質の向上に生かせる様対応する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。